

シリーズ医療：九州でキラリ光彩放つ病院

「予防から治療、社会復帰まで
心の病は窓口で気軽に相談を」

濟世会河野病院グループ

本部：福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 139
TEL 092-947-0611
<http://www.kawano-hp.com>

病院概要

【理事長】河野正美

【(病院名) 診療科目、病床数、所在地名、電話番号】

(河野病院) 精神科・神経精神科・老年精神科・心療内科・内科・歯科・歯科口腔外科、140床、福岡県篠栗町、092-947-0611、(河野名島病院) 精神科・神経精神科・老年精神科・心療内科・内科・皮膚科、179床、福岡市東区名島、092-681-5231、(河野粕屋病院) 精神科・神経精神科・老年精神科・心療内科・内科、250床、福岡県宇美町、092-932-7300、(薬院河野クリニック) 内科・心療内科、福岡市中央区薬院、092-531-2416



河野名島病院（福岡市東区）



河野正美理事長

テレビ、パソコン、机などアメニティ
がそろう「プレミアムルーム」



責任をもてる病院づくり

現代はストレス社会といわれるように、仕事や人間関係で悩みを抱える人が多く、自殺者が増えるなど心の病は社会問題にもなっている。かつて医療界では「精神病は治らない」として患者隔離が常態化していたが、近年は薬の劇的な進歩により短期間で快復に向かい、人権も見直されるようになった。しかし、今日でも精神科病院の古いイメージが残り「怖くて敷居が高い」というのが現状ではないだろうか。

「福岡都市圏東部で精神科系病院の10%に及ぶ病床数（計569床）を持つ」という医療法人濟世会は、病院を中心に4つの施設を運営。1946年の創設以来「どんな患者も受け入れる」を理念に、「精神科病院」のイメージを払拭する取り組みを見せる。その1つが「にじいるプロジェクト」で、雨上がり

の虹のようにすがすがしい気持ちで社会復帰してほしいという願いを込め、予防（早期診断）から治療、社会復帰まで「責任をもてる病院づくり」に力を入れている。河野正美理事長（医学博士）は、患者が病院を利用しやすいようにするため「電話や来院で気軽に相談できる窓口を配しており、どんな相談にも応じている」と語る。

開放的な施設が充実

昨年2月開設の薬院河野クリニックは福岡都心に通うビジネスマンが立ち寄りやすい立地。退院した患者が同クリニックの「復職デイケア」へ「出勤」して行く職場復帰のプログラムを支援する。さらにセカンドオピニオン外来「メディカルサポート薬院」も併設した。展望庭園・大浴場がある河野名

島病院には、短期入院のストレスケア室「プレミアムルーム」を配

置、エグゼクティブ層などに人気がある（写真）。また、グループ最大の河野粕屋病院は3月、地上6階建て新病棟を着工する。認知症やストレスケアに対応する施設としてバリアフリー化し、福岡市街を一望する屋上庭園なども一新、12年春の完成を予定する。

4施設ともうつ病や認知症、統合失調症、アルコール依存症などあらゆる相談を受け付け、うつ病などは短期間で安心して治療に専念できる施設、統合失調症など入院を要する患者は開放的なくつろぎの病棟へ。デイケアセンターとグループホームも併設してトータルケアを貫き「来て良かったと言われる病院」を目指している。